

## 研修会報告

令和6年1月21日

文責：伊藤 光汰

研修会テーマ「深掘りしてみよう！肺機能検査の世界」

開催日時 令和6年1月21日（日） 13:30～16:00

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 仙台厚生病院 石田 啓介

生涯教育点数 専門教科 20点

参加者 会員参加者 37名 入会申請中会員 0名 非会員 2名 賛助会員 0名 学生 0名  
合計 39名

講演1「コロナ禍における肺機能検査」

講師：仙台赤十字病院 検査部 西尾 太一 技師

座長：石巻赤十字病院 伊藤 光汰

講演2「気胸を繰り返す肺癌の症例の検討」

症例提示：東北医科薬科大学病院 検査部 阿部 朋子 技師

座長：仙台厚生病院 石田 啓介

講演3「肺癌、気胸診療に係るスパイロメトリーと NO 検査の役割」

講師：東北医科薬科大学 外科学第2（呼吸器外科） 野々村 遼 医師

座長：仙台赤十字病院 西尾 太一

16:00 終了

### 内容

講演1では新型コロナウイルス感染症の変遷、そして、流行期前後や感染症法上の5類移行後における感染対策などを、自施設での経験を中心に他施設での対応も交えながらご講演いただいた。多数の患者と接する生理検査では感染対策は切り離せない事項だが、各施設の感染対策について見直す良い機会となったのではないかと思います。

講演2では症例も確認しながら、基本から応用までご講演いただき、経験の浅い方から比較的経験のある方まで勉強になったのではないかと思います。

講演3では呼吸器外科とはどういった診療科なのかということから、肺癌術後の肺機能の推移や自然気胸と NO 検査の関連など、臨床的な情報や最新の知見まで幅広くご講演いただいた。研修会終了後のアンケートでは「検査を行う際にカルテなどを確認してみようと思った」といった会員の声もあった。日常業務では検査を行うことに追われてしまうかもしれないが、実際の検査時にも患者背景を考えて検査するきっかけとなれば幸いである。